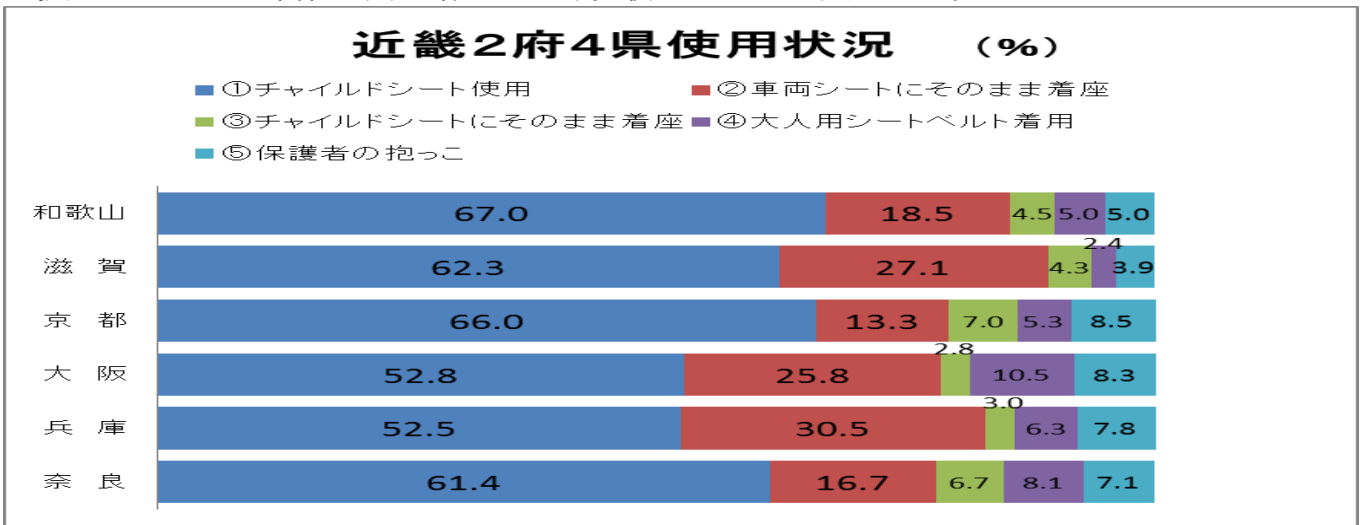


3割超が未使用！？ 和歌山県のチャイルドシート使用率 ～チャイルドシート使用状況全国調査（2015）結果～

J A F（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）と警察庁は、平成27年5月26日～6月4日の10日間、全国99ヵ所において、自動車乗車中の6才未満の子どもを対象に「チャイルドシートの使用状況」等の合同調査を実施しました。その結果、使用率は全国平均で62.7%、和歌山県では使用率は67.0%となりました。近畿2府4県で最も高い数字となりましたが、チャイルドシートの使用が義務付けられているにもかかわらず、全体の3～4割が使用していない状況でした。



《和歌山県・チャイルドシート使用状況調査》

- ◆調査日：平成27年5月30日（土）
- ◆調査場所：1. 和歌山マリーナシティ 2. アドベンチャーワールド
- ◆調査人数：台数158人・200台
- ◆調査結果：6歳未満の子どもの使用率は67.0%と昨年の66.0%より1ポイントアップしました。しかしながら「車両シートにそのまま着座・18.5%」をはじめ「チャイルドシートにそのまま着座・4.5%」、「大人用シートベルト着用・5.0%」や「保護者の抱っこ・5.0%」など、チャイルドシートが活用されていないケースが33.0%にのぼりました。

運転席や助手席のシートベルトは90%以上の着用率ですが、チャイルドシートの重要性がまだまだ認識されていないことが、明らかになりました。

チャイルドシートを正しく使用していないと、急ブレーキや衝突の際に子どもが大けがをしたり、死亡事故につながる可能性があります。交通事故が起こってから「あの時チャイルドシートを使用しておけば良かったのに！」と思っても悔やみきれません。

J A Fでは車内における子どもの安全を守るため、チャイルドシートの正しい使用方法やシートベルト着用推進に関する啓発活動を積極的に展開していきます。2015チャイルドシート使用状況全国調査結果は、PDFでもJ A Fホームページからダウンロードできます。

<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/data/index.htm>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

一般社団法人日本自動車連盟 和歌山支部 広報担当 小山 真
 電話 073-421-5355 FAX073-402-0808